



gusuku Deployt ～基本操作手順マニュアル～

gusuku Deployt でバックアップ機能を利用する

概要

バックアップ機能は gusuku Deployt の標準機能です。

バックアップ機能を利用すると、kintoneに入っているレコードデータのフルバックアップや、アプリを選択してフルリストアなどを行うことができますようになります。

今回は、kintoneで「開発環境」「本番環境」という2つの異なるスペースにあるアプリで、本番環境に入っているデータを開発環境でも利用するというシナリオで、本番環境から開発環境にデータをコピーしてみたいと思います。

注意事項

gusuku Deployt はkintone同様、ブラウザからアクセスして利用するサービスです。

原則kintoneとセットでご利用いただくもので、単体ではご利用いただけません。

また、**kintone API** に準拠して設計されているサービスになります。

kintone APIにおいてサポートされていないことは本サービスでも機能としては実装されていませんのでご了承下さい。

gusuku Deployt サインイン画面：

<https://app.gusuku.io/>

gusuku Deployt でレコードのバックアップを取得する

gusuku Deployit で管理しているアプリは、レコードのバックアップを取得することができます。
 今回は本番環境にあるアプリにデータが入っている想定で、そのデータのバックアップを取得し、
 開発環境にある空のアプリにデータをコピーします。

[Deployit] 営業支援

Home / [Deployit] 営業支援

本番環境のアプリに入っているデータ(=レコード)を開発環境にある空のアプリにコピー

	開発環境	本番環境
[1]顧客情報_関連レコード	@appld: 14 → version: 2 update: 2018/03/20 11:39:28	@appld: 35 → version: 3 update: 2018/03/20 11:40:02
[2]案件管理_関連レコード	@appld: 13 → version: 4 update: 2018/03/20 11:39:30	@appld: 98 → version: 5 update: 2018/03/20 11:40:06

バックアップの取得は、gusuku Deployit のアプリの詳細画面のメニューから行います。



バックアップの取得方法は以下の2パターンがあります。

アプリの運用ポリシーに応じて選択して下さい。

- 手動実行(ボタンをクリックしてそのつど実行)
- 定期実行(日次で深夜～早朝の時間帯に自動実行)

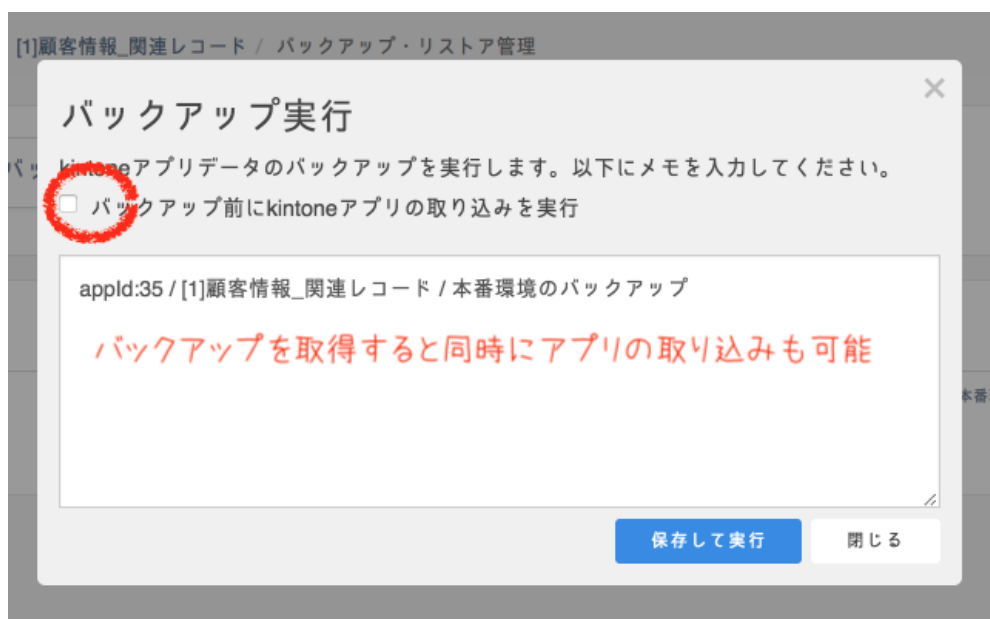
バックアップの手動実行方法

「バックアップ実行」ボタンをクリックします。



バックアップ実行のダイアログが表示されますので、特にメモなども変更がなければ
 「保存して実行」をクリックして下さい。

バックアップの際、アプリの取り込みも同時に行うことができます。



手動実行の場合は、削除も手動で行う必要があります。



新しくバックアップを取得された場合は、古くなったデータは削除していくようにしましょう。

古いデータを削除せずに放置されたままにすると、ディスク容量を消費します。

このディスク容量は、ご契約いただいているプランの上限に影響します。

バックアップの定期実行方法

バックアップの定期実行は定期バックアップを「オン」に設定するのみとなります。

[1]顧客情報_関連レコード on 本番環境

Home / [Deploy] 営業支援 / 本番環境 / [1]顧客情報_関連レコード / バックアップ・リストア管理

バックアップ実行 定期バックアップ オン オフ 予定時刻: 03:11:39 GMT+0900 (JST)

ジョブ一覧 ↻

バックアップ完了	2018/03/21 10:01:10	2018/03/21 10:01:24	appld35/[1]顧客情報_関連レコード/本番環境のバックアップ	✕
----------	---------------------	---------------------	------------------------------------	---

定期バックアップで取得されたデータは7世代維持されます。

7世代を超えた古いデータから順次自動的に削除されますので、手動で削除を行う必要がありません。

gusuku Deployit でレコードをリストアする

バックアップで取得したデータをkintoneアプリにリストアすることができます。

リストアは、取得元のアプリに対して行うことも可能ですし、マトリクス上で1行に並んでいるアプリであれば、別のアプリに対してもデータをコピーすることが可能です。

[Deployハンズオン] 営業支援

Home / [Deployハンズオン] 営業支援 赤枠の1行内にあるアプリであれば、どのアプリもデータのリストア先として選択が可能

	開発環境	本番環境
<p>[1]顧客情報 </p> <p style="color: red;">開発環境・本番環境と環境は異なるが、アプリ自体は一緒という意味になる</p> <p>[2]案件管理 </p>	<p>appId: 27 → version: 1 update: 2018/03/12 20:54:03</p>	<p>appId: 29 → version: 1 update: 2018/03/12 21:18:15</p>
	<p>appId: 26 → version: 1 update: 2018/03/12 20:54:13</p>	<p>appId: 28 → version: 1 update: 2018/03/12 21:19:05</p>

本番環境のアプリからバックアップしたデータを、開発環境のアプリにリストアしてみましょう。

リストアはバックアップデータから選択します。

[1]顧客情報_関連レコード on 本番環境

Home / [Deploy] 営業支援 / 本番環境 / [1]顧客情報_関連レコード / バックアップ・リストア管理

バックアップ実行 定期バックアップ オン オフ 予定時刻: 03:11:39 GMT+0900 (JST)

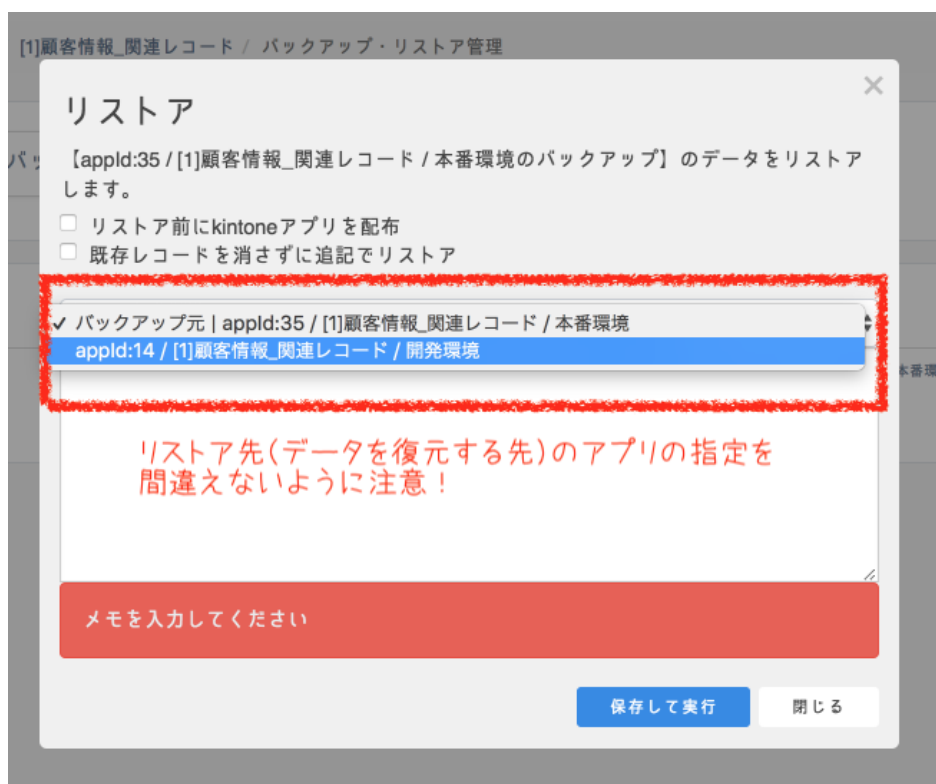
リストア

完了	2018/03/21 10:01:10	2018/03/21 10:01:24	appId:35 / [1]顧客情報_関連レコード / 本番環境のバックアップ
----	---------------------	---------------------	---

リストア画面のダイアログが表示されますので、ここからリストア先を指定します。

今回は取得元アプリではなく、開発環境のアプリを選択します。

リストア時にはメモの入力が必要なので、メモを入力し「保存して実行」をクリックします。



リストアの履歴は、リストア先のアプリのバックアップ画面から確認をすることができます。



リストアできているかどうかを、実際にkintoneアプリでも確認してみましょう。

[Deploy] 開発環境

スペース: [Deploy] 開発環境 | アプリ: [1] 顧客情報_関連レコード

ハンズオンで使用する、会社名、担当者名、連絡先などお客様の情報を登録するアプリです。

顧客一覧

1 - 19 (19件中)

業種	地域	会社名	部署名	担当者名	郵便番号	住所
商業・小売業	中部	有限会社アベンティス国際帝国…	検査室	下田三起雄	915-0234	福井県越前市大滝町36…
情報通信業	九州	化成ソリューションファルマ合…	澁粉グループ	枝重慎昭	818-0004	福岡県筑紫野市吉木35…
サービス業	近畿(大阪以外)	株式会社西武ジーキタムラ	経済課	乙藤連勝	526-0002	滋賀県長浜市保田町12…
情報通信業	東北	株式会社情報土屋プロダクツ	介護福祉課	稲栄磨巨子	018-0133	秋田県にかほ市象洞町…
電気・ガス・水道業	中部	序湯気不二ヤマト合資会社	営業2部	瀧之谷未之	463-0045	愛知県名古屋守山区…
製造業	東北	白石京王薬品組合	営業1部	矢船傳代	971-8169	福島県いわき市小名浜…
建築土木業	中部	設計エスエス第一株式会社	開発グループ	鳥生永季	478-0054	愛知県知多市つつじが…

バックアップ・リストア時の注意点

- バックアップは、kintoneのレコードデータのみのバックアップとなります。
- kintoneのレコードデータ=サブテーブル内のデータ、添付ファイルを含む
- コメント、プロセス管理のステータスはリストア対象に含まれません。
- 配布先にアプリが存在していない場合は、リストアに失敗します。
- リストア時「既存レコードを消さずに追記でリストア」を選択しなければ、リストア先にすでに入っているデータがあれば、まずそのデータを削除した上でデータのリストアが行われます。
- バックアップ元などに直接データをリストアされる場合は、正しくデータがリストアされるかをご確認いただくため、別環境に一度空のアプリを作成いただいた上でリストアできることをお試しいただいてからバックアップ元にリストアしていただくことをお勧めいたします。
- レコード番号はkintoneの仕様上、同じ番号をそのままリストアすることができません。
- そのため、レコード番号などをキーにしてルックアップなどを設定されている場合は、リストアによりルックアップしてくる結果が異なる可能性があります。
- バックアップデータは、その時のkintoneアプリのフィールドの型に応じた形式になります。
- 例えば、古いデータなどを利用してリストアされる場合、そのデータを取得した時のアプリの構造と、現在のアプリの構造が変わっていると(フィールドが変更されていたり、削除されている、あるいはドロップダウンなどのリスト項目が異なっているなど)正常にリストアできない可能性があります。
- レコードデータのバックアップを取得される場合には、その時のアプリも「バックアップ前にkintoneアプリの取り込みを実行」で一緒にバックアップを取得していただくことをお勧めします。